

平成26年度実施

草津市市民まちづくり提案事業

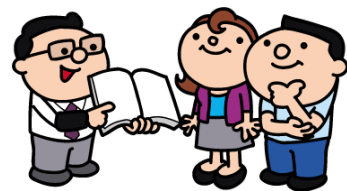
協働事業 事例集

市民 × 行政 の協働事業！！



協働事業事例集 目次

1. ■ **みんな共同参画事業「くさつ輝け☆パールプロジェクト」**
くさつ☆パールプロジェクトチーム × まちづくり協働部まちづくり協働課
2. ■ **ゴーヤーカーテン普及啓発事業**
(特活) NPOびわ湖環境 × 環境経済部環境課
3. ■ **障害者とその家族の孤立化防止のための
実態調査と孤立化防止の取り組み事業**
(特活) 草津手をつなぐ育成会 × 健康福祉部障害福祉課
4. ■ **妊婦教室・父親教室開催事業**
草津コミュニティ支援センター運営会 × 子ども家庭部子育て支援センター
5. ■ **くさつ景観百選ウォーキングマップづくり事業**
(特活) D. Live × 都市計画部景観課
6. ■ **子どもアスリート育成事業**
滋賀サイクルクラブ・クラブ ブルレイクエンジェル × 教育委員会スポーツ保健課



みんな共同参画事業

「くさつ輝け☆パールプロジェクト」

予算額500千円



くさつ☆パール
プロジェクトチーム



まちづくり協働部
まちづくり協働課

事業の背景

本市では、多様な市民が市政に参加する市民参加を市政運営の基本方針とし、その具体的な事項について規定する「草津市市民参加条例」を平成25年3月に施行しました。

これまで審議会やパブリックコメント等の様々な手法を用い、市民参加を推進してまいりましたが、地方分権や、市民ニーズの拡大を背景に、市民本意のまちづくりを進めるためには、今後、より一層の市民参加を推進する必要があります。

とりわけ、審議会へ一般市民が参加する公募委員制度を積極的に推進したいと考えていることから、市民の皆様へ、積極的な応募をいただけるような仕組みづくりが必要となりました。

事業内容

市民の皆様へ、公募委員として審議会等へ参加いただくため、まずは、くさつ☆パールプロジェクトチームが、ワークショップや視察などの研修を開催し、人材育成を図ります。

研修の企画は、市議会議員との懇談会や公共施設への視察など、草津市への愛着心を育むことも目的とし、可能な限り草津市に関連したものを検討いただきました。

そして、研修に参加された方の中で、市民参加を推進するというパールプロジェクトの趣旨に賛同した方には、公募委員の候補者として、人材リストへ登録いただきます。

一方で、草津市は、人材リストを管理し、公募委員の募集情報等をリスト登録者にメールで送信することで、公募委員への応募を促します。



役割分担

NPO

- リストへの登録周知
- 研修会の企画、運営
- 登録者間のネットワーク形成

行政

- リストの管理、活用
- 周知活動
- 公共施設等の貸与

協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

市民参加の仕組みは整備されてきましたが、多様な市民の参加に至っていないのが、これまででした。その意味で、本事業は、市民参加のあり方に一石を投じるものだと思えます。

市政への関心を高める工夫がなされ、多くの参加が進みました。今後のネットワークの広がりに期待します。

◎担当者からひとこと



くさつ☆パール
プロジェクト
重原 文江さん

人口が増えている草津市には多様な市民が暮らしておられることが、このプロジェクトを実践していく中でよくわかりました。若い世代の女性が審議会の委員となり、今まで届かなかった声が、届くようになっていけばいいと思います。今後、市民参加から参画へとつながり、さらにネットワークが広がっていくことを願っています。担当課にもいろいろとサポートしていただき、協働が実感できた1年でした。

1年という短い期間で121名もの登録者を集め、公募委員としておよそ20名の審議会への参加を達成でき、市民参加を進める施策として顕著な成果があったものと考えています。市民参加を進めるためには、市民間のネットワークが非常に重要です。今後も、ネットワークを広げながら、市政に関わる市民を増やしていただければと思います。



まちづくり協働課
松岡 秀樹

ゴーヤーカーテン普及啓発事業

予算額50千円



特定非営利活動法人
NPOびわ湖環境



環境経済部
環境課

事業の背景



ゴーヤーカーテンは節電や地球温暖化防止につながる効果があるため、市では苗や種子の配布により普及拡大を図ってきました。

この事業は、このゴーヤーカーテンを更に普及させる事を目的としており、その効果的な方法として、市民センターで地域市民に順次普及啓発していく方法を用いました。具体的には、市民センターで種から育てるゴーヤーカーテンの講座開催と種子の配布を行い、ゴーヤーカーテンの普及拡大を市民に働きかけました。

事業内容

5月の土曜日に、市内3ヶ所の市民センターで講座を開催しました。講座では、参加者に関心を持っていただけるよう、種から育てるゴーヤーカーテンの作り方のほか、家庭における節電の進め方や食のエネルギー、エコショッピングの話などもさせていただきました。

参加者の方々は、講師の解説に熱心に耳を傾けながら、ゴーヤー種子のカットングに挑戦されていました。「持ち帰った種子で今年は種からゴーヤーカーテンを作ってみます」「来年も講座をやってほしいです」との好評をいただくことができました。



役割分担

NPO

- 市民センターとの調整
- 講師調整
- ゴーヤー種子の準備
- チラシ等印刷物の準備
- 講座開催・種子配布

行政

- 市民センター申請
- 市民への講座案内(広報・ホームページ等)

協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

ゴーヤーカーテンの普及は行政だけではできないので、NPOによる講座をうまく組み入れることで相乗効果が出たと思います。

講座内容も、NPOならではの工夫がされ、また、市民センターなどとの連携もうまくいったようです。

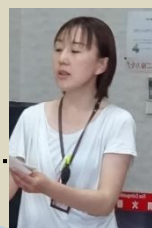
◎担当者からひとこと



(特活) NPO びわ湖環境
井上 博之さん

NPOびわ湖環境としては、知識はあるものの一般家庭向きの事業は初めてであったため、市環境課だけでなく市民センターや県の地球温暖化防止活動推進員の方々の協力も得ながら講座を開催し、ほぼ予定の数のゴーヤー種子を配布することができました。今後はゴーヤーカーテンの普及を促すことができるよう、より一層魅力ある講座を開きたいです。

節電講座と組み合わせるなど、NPOさんならではの柔軟な発想で講座を企画していただきました。ゴーヤーカーテンの育て方については、生育段階ごとの見本の株の準備など、深い知識に基づく周到な準備をしていただいたうえで、大変丁寧に解説していただき、参加者の満足度が高まったようです。



環境課
津田 久美子

障害者とその家族の孤立化防止のための 実態調査と孤立化防止の取り組み事業

予算額500千円



特定非営利活動法人
草津手をつなぐ育成会



健康福祉部
障害福祉課

事業の背景

草津市では、平成24年度に高齢の親が障害のあるわが子の命を絶ったという痛ましい事件が発生しましたが、二度とこのようなことが起きないように、障害者やその家族が地域で孤立することなく安心して生活できる地域づくりが求められており、そのための対策を検討するとともに、地域で障害や障害者についての理解を促進することを目的として本事業を実施しました。



事業内容

孤立が懸念される障害者世帯の訪問を行い、障害者をもつ同じ立場の者が日ごろの悩み等の聞き取りを行いました。

また、「地域生活調査報告書（全日本手をつなぐ育成会編）」で提案されたリスク評価手法を使用し、訪問活動、学習活動、分析活動、提案活動を通して、草津市での実態調査を実施・評価することで、孤立の危険性を評価するための実効力のある評価手法（草津市版）の確立を目指しました。

これらの活動については、草津手をつなぐ育成会内に「草津市孤立世帯実態調査会」を設置し、関係機関、関係団体の協力のもと行いました。

役割分担

NPO

- 実態調査（訪問活動）
- 学習会開催（学習活動）
- 会議開催（分析活動）
- 提案書作成（提案活動）

行政

- アンケート調査の協力
- 学習会の支援
- 会議への参加
- 報告会の開催

協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

行政施策を進める上で、ニーズ把握は欠かせないものですが、特に障害者の孤立防止施策を進めるための実態調査は、今回のような当事者団体との協働が必要です。これからの施策立案の過程も、行政だけでなく、協働型で進めていただくよう期待しています。

◎担当者からひとこと



(特活)草津手をつなぐ育成会
三木 敏至さん

テーマがかなり重いもので、成果が出せるか心配でしたが、関係機関の協力、草津市中心障害者福祉対策審議会 峰島会長のご指導により、何とか進めることができました。内容は全国的にも先進的なものであり、行政・大学・民間の協働作業で取り組みました。このテーマについては、今後も引き続き追及していかなければならないと考えています。

草津手をつなぐ育成会や関係団体の皆様に実施していただいた訪問活動等により、市内の障害児者世帯の孤立化の実態や様々な課題が見えてきました。これらの課題への対策については、「草津市孤立世帯実態調査会」からの報告書の中でも提案いただいておりますので、次年度以降に新たな取り組みができればと考えています。



障害福祉課
三浦 恭久

妊婦教室・父親講座開催事業

予算額 150 千円



草津コミュニティ
支援センター運営会



子ども家庭部
子育て支援センター

事業の背景

草津市は、ここ数年、子どもの出生数が年間約1300人程度と他市に比べて子どもの数が増えている状況です。

また、転入されて知り合いがいないという状況で、多くの方が出産・育児をしようとされています。

妊娠期から継続した子育て支援をすることで出産・子育てへの不安を軽減し、父親も子育てを楽しみ積極的な参加ができるよう事業を始めました。



事業内容

妊婦教室は、妊娠時の身体の変化に合わせやすい「妊婦ヨガ」も取り入れ、子育ての不安・悩みなども気軽に話し合えるよう、ほっこりできるCaféのような感じで仲間作り・交流を進めました。

父親講座については、講座ごとに受講生を募り、家庭でも楽しめる「新聞紙でワイルド遊び」や、調理実習「わいわいランチ」などプレパパ・プレママが参加しやすい体験型の講座を、妊娠期から子育てに役立つ実践的なテーマで開催しました。



役割分担

NPO

- 広報
- 講師選定・企画
- 講座進行
- アンケート集計

行政

- 広報
- 参加受付
- 託児
- 講座進行サポート

協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

子育て支援は、大きな行政課題で、取り組むべき施策はいろいろありますが、プレママ・プレパパ向け講座という新たな発想の事業が協働で進められてよかったと思います。講座内容も、NPOらしく体験型であったことも効果を生み出したものと思われま

◎担当者からひとこと



草津コミュニティ
支援センター運営会
大橋 美和子さん

プレパパママ同士の交流と仲間づくりを目的に茶話会形式で実施しました。家族の方々が参加され、不安を抱えたプレパパママが、妊娠・出産等の学び、オムツ交換や沐浴など体験し自信につながったと好評でした。子育ては、“一人で頑張る”のではなく、地域の子育てサロンなどを利用し楽しんでいただきたいと思います。

子育てをサポートさせていただく方法は様々ですが、それぞれが今日まで培ってきた多くの事を互いに出し合い新しい形で提供できました。スタッフの皆さんの丁寧な心くばりで、毎回会場は参加者の皆さんがリラックスされた安心感あふれる笑顔でいっぱいでした。



子育て支援センター
角 多津子

くさつ景観百選 ウォーキングマップづくり事業

予算額450千円



特定非営利活動法人
D.Live



都市計画部
景観課

事業の背景

「景観」は「見る主体（人間）」と「見られる対象」で成り立つものです。パンフレットや写真を見る



だけでは伝わらないものでも、現地に行き、景観に触れることで感じる場合があります。

市では、皆さんが誇りに感じる、次世代に引き継いでいくべき草津市ならではの景観を募集し、「くさつ景観百選」として選定しました。

このような素晴らしい景観を次世代に引き継いでいけるよう、親子をテーマとして、楽しみながら気軽に歩いていただけるマップを作成しました。

事業内容

様々な分野で活躍されている複数のNPO団体の皆様と取り組むことで、多様な観点から草津市の景観を捉え、皆様に知っていただけるよう取り組みました。

また、「親子で楽しめる」ウォーキングマップということで、子どもの視点を取り入れるため、親子を対象としたまちあるきイベントを行いました。まちあるきで見つけたもの、おもしろいと思うものを参加者で話し合い、マップに掲載する内容を決めた後、市とNPO団体の皆様とで協議を重ね、マップを作成しました。



役割分担

NPO

- まちあるきイベントの企画・運営
- イベント周知
- マップデザイン
- マップの周知

行政

- イベントの運営協力
- 資料の提供
- 会議室等の提供
- マップ作成協力
- 周知・広報

協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

行政だと、なかなか現地に赴き成果物を作成するという発想にならないので、現場での気づきをうまく取り入れたこの事業は、協働事業として意味があったと思います。協議を重ねるのは、手間のかかるものですが、協働事業推進のためのプロセスには欠かせないものです。

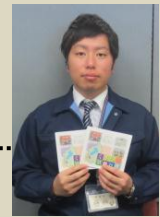
◎担当者からひとこと



(特活) D.Live
田中 洋輔さん

協働で事業をさせていただいていなければ、今回作ったものは決して作成出来ていなかったと思います。市民活動をされている方々にも手伝ってもらい、1+1が10にも100にもなりました。草津にはステキな景色や歴史がたくさんあります。かなりおもしろいものが出来たと思うので、ぜひご家庭や学校でも活用していただければと思います。

草津市は、琵琶湖岸や田園風景などの広がりのある自然景観、本陣を中心とした旧街道草津宿のまちなみの歴史景観、駅周辺などの都市景観が特徴です。これらの景観を次世代に語り継いでいくため、親子という観点に着目しました。このマップを手にとっていただき、実際に景観に触れ、景観の良さを感じていただければと思います。



景観課
田村 昌也

子どもアスリート育成事業

予算額200千円



滋賀サイクルフィギュアクラブ
ブルーレイクエンジェル



教育委員会事務局
スポーツ保健課

事業の背景

草津市では、スポーツ活動を通して生涯にわたってスポーツに親しむひとづくりを目指し、未来のスポーツ文化を担う子どもたちを育てていくことを目的に、子どもアスリート育成事業を開催しています。



平成26年度は、子どもたちが「スポーツを楽しむ・スポーツに親しむ・習慣的にスポーツをする」きっかけづくりとして、滋賀サイクルフィギュアクラブ ブルーレイクエンジェルと協働でサイクルフィギュア教室などを実施しました。

事業内容

事業には、市内の小学3年生～6年生の7人が参加しました。

サイクルフィギュアのトップアスリートを講師に迎え、トップアスリートの演技や指導のもと、



子どもたちは、乗り慣れないサイクルフィギュアに果敢に挑戦しました。

教室を重ねるごとに、子どもたちはどんどん新しい技を覚え、成果発表会では、多くの観客の前で演技を披露することができました。



役割分担

団体

- 事業の詳細決定
- チラシの作成
- 事業の企画・運営
- 報告書の作成 など

行政

- 事業の広報・周知
- 参加者の取りまとめ
- 実施場所の確保 など

協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

あまりなじみのないサイクルフィギュアというスポーツを通じて、事業の目的である未来のスポーツ文化を担う子どもの育成が図れたと思います。

子どもたちの関心を引くという点でのニュースポーツの取組みは、新たな一歩を踏み出すきっかけになればと期待しています。

◎担当者からひとこと



滋賀サイクルフィギュアクラブ
ブルーレイクエンジェル
の皆さん

事業の実施にあたり、団体と行政のお互いの強みをしっかり出し合い、綿密な話し合いをしたうえで事業を実施したことで、非常に充実した内容となり、目標を達成することができました。
子どもたちが習慣的にスポーツを楽しめる機会をつくるためにも、今後このような協働事業が実施できればと思います。

団体の代表の堀井和美さんをはじめ、トップアスリートを講師にお迎えし、より専門的な指導と子どもたちのレベルに応じたきめ細かな指導を行っていただきました。初回では、一輪車に乗れなかった子どもも、最終回には、難しい技をできるようになりました。
子どもたちには、サイクルフィギュアを通して、スポーツの楽しさや素晴らしさを感じてもらえたと思っています。



スポーツ保健課
スポーツ保健グループ

発 行

草津市まちづくり協働課

TEL : (077)-561-2337

FAX : (077)-561-2482



草津市

Kusatsu City